

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和6年10月号 No.209

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

令和6年度 第75回 全国労働衛生週間

～ 推してます みんな笑顔の 健康職場 ～

全国労働衛生週間は、昭和25年から毎年実施され今年で75回を迎え、10月1日から7日まで、全国一斉に実施されます。

職場の衛生管理水準は着実に向上していますが、今なお多くの業務上疾病が発生しています。新型コロナウイルス感染症を除いた令和5年の愛知県内における休業4日以上業務上疾病の件数は、前年の464件から3.7%減少し447件となり、令和5年度の長時間労働等を原因とする脳・心臓疾患や精神障害による労災認定件数は、前年の46件から67.4%増加し、77件となっています。

また、定期健康診断有所見率は、上昇傾向にあり、令和5年の有所見率は55.1%となり、半数を超える労働者が何らかの所見を抱えながら働いている状況にあります。

一方、令和5年10月の法改正により、石綿解体・改修工事の事前調査・分析調査を行う者には資格等が必須となり、さらに化学物質規制の仕組みが、自律的管理を基軸とした化学物質管理へ転換されるなど、さまざまな制度見直しが行われたところです。

以上のような状況の下、愛知労働局では、令和5年度より令和9年度までの5か年を計画期間とする第14次労働災害防止推進計画を策定し、「総合的な健康対策」を重点事項の一つとして、労働安全衛生法に基づく健康診断、長時間労働面接指導、ストレスチェック等の健康確保措置や、THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）指針、メンタルヘルス指針等の健康保持増進措置について、相互連携して取り組みます。また、危険性・有害性が認められた化学物質や粉じん等について、リスクアセスメントを中核とした、自律的でポジティブな安全衛生管理を促進します。これら働く方々の安全・健康確保を通じ、企業、社会のウェルビーイング（Well-Being）を実現することとしています。

事業場におかれましては、全国労働衛生週間を契機として、現在行われている労働衛生管理、取組などを再確認していただき、多様化する労働衛生上の課題に取り組むための機会とされますようお願いいたします。

全国労働衛生週間中に実施する事項

- ① 事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視
- ② 労働衛生旗の掲揚及びスローガン等の掲示
- ③ 労働衛生に関する優良職場、功績者等の表彰
- ④ 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症等による事故など緊急時の災害を想定した実地訓練などの実施
- ⑤ 労働衛生に関する講習会・見学会などの開催、作文・写真・標語等の掲示、その他労働衛生の意識高揚のための行事などの実施

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを

みちしるべ

我々の生活に欠かせない存在のエッセンシャルワーカー 今こそ、「社会の支え手をきちんと支えられる日本」へ

名古屋木材組合

組合長 西 垣 洋 一

“エッセンシャルワーカー”の処遇、待遇改善が急務

私たちの日常は多くのエッセンシャルワーカーによって支えられています。エッセンシャルワーカーとは、日常生活を維持するために不可欠（エッセンシャル）な職業従事者のことを言います。例えば、医療、介護福祉、保育、教育、自治体・公共交通機関などの公共サービス、ガス・水道・電気・通信など生活インフラ、物流、生活用品を扱うスーパーやドラッグストア、コンビニなどの小売業等に従事する方々が挙げられます。

しかし、彼らの処遇や待遇、労働条件は決して良いとは言えず、業務負荷が高い割に、賃金などの待遇面や評価が低いことが共通課題の一つとなっています。医療従事者の例を挙げると、コロナ禍で病院の収支悪化を背景に、職員の賞与引き下げを行ったケースも話題に上がりました。小売業や介護業界では、パートなどの非正規雇用者の数が多いことも、待遇面が向上しにくい要因の一つに挙げられます。そのためエッセンシャルワーカーが働く業界の多くが、若者のオフィスワーカー至上主義の高まりも相まって、人手不足に陥っていることが顕在化しています。今後ますます労働力不足が進む中、このままでは私たちの生活はみる間に混乱し、普段通りの生活を過ごしていくことが困難となります。エッセンシャルワーカーを増やすためにも、待遇面の改善や社会的に評価をする仕組みの構築が欠かせません。

「現場搾取社会」からの脱却 - 社会の支え手を支える日本へ

- 木材業界における“エッセンシャルワーカー”の地位の向上を!! -

例えば森林・林業・木材産業について言えば、第一次産業としてエッセンシャルワーカーに含まれる林業従事者も実際のところ人手不足は深刻（昭和55年約14.6万人⇒令和2年 約4.4万人へ約70%減）であり、次世代の担い手不足かつ高齢化が進んでおり、コロナ禍以前より労働力確保の問題が指摘されてきました。このままだと森林の環境保全や木材生産に悪影響が出てしまい、労働環境や待遇面の改善など労働力確保の対策が急務となっています。海外では、ドイツやフィンランドにおいて森林経営という分野が成熟し、かつ重要視されています。ドイツにはマイスター制度があり、フォレストラー（森林官）や森林マイスターが国家資格として確立されています。これらは地位の保証された専門職であり、人々の尊敬を集める職業となっています。こうした海外から学ぶことは多く、卓越した技術や、山林を管理する知見、業界や自然環境への長年の貢献は、大きな賞賛に値するものです。日本でも林業従事者が生きがいを持って働ける、地位の確立された魅力ある林業の実現に向けた取り組みが必要です。

林業従事者に限らず、コロナ禍でエッセンシャルワーカーの重要性が認識されたとはいえ、遺憾にも未だ日本ではオフィスワーカー優位の意識が蔓延しています。今後も当たり前のように享受してきた日常生活を維持していくためには、我々の固定観念から変えていく必要があります。そして、現場にお金を回さない「現場搾取社会」の産業構造（商慣行）から脱却し、「社会の支え手をきちんと支えられる日本」への再設計を図っていかねばなりません。

◆ 合縁木縁 ◆

「アメリカンフットボール」

私は2021年4月入社で、今年で社会人4年目を迎えました。入社までの学生生活ではずっとスポーツばかりを行っており、3歳から高校生まではラグビー部に、大学からはアメリカンフットボール部に所属しておりました。

ラグビーはワールドカップが日本で開催されるなど、皆さんもニュース等でご覧になったことがあるかもしれません。しかしアメリカンフットボールは、日本ではまだまだマイナースポーツです。

アメリカンフットボールは名前の通り、アメリカ発祥のスポーツで、世界のアメフト競技人口が2300万人と言われている中で、約900万人がアメリカでプレイしています。プロリーグのNFL（ナショナル・フットボール・リーグ）は世界で最も観客動員数が多いスポーツリーグの一つで、特にシーズンの最終試合「スーパーボウル」は、アメリカ最大のスポーツイベントです。

一方、日本の競技人口はテレビアニメ「アイシールド21」の影響により10年間で倍に増え約2万人(高校生約4000人 大学生約1万人 社会人約5000人)となりましたが、日本では野球やサッカーに比べるとかなりマイナーなスポーツといえます。

そんな中、6月にカナダで開催されたU20世界選手権の準決勝で、日本代表がアメリカ代表に41-20で勝って、決勝戦に進出しました。

世界大会で、日本がアメリカに勝ったのは、この世代だけでなく、フル代表も含めた各カテゴリーで史上初めての快挙であり歴史的な勝利をおさめました。

そこで私が感じたことは、少子高齢化により日本の人口が長期的に減少すると予測されている中で、その一人一人の質は上がってきているのではないかと思います。前号の山口 健太氏（大日本木材防腐株）からスポーツ続きにはなりますが、マイナースポーツであっても日本のプレイヤーの質は上がってきております。ルール等はこれから覚えるのは難しいかもしれませんが、若者の勇姿を一度ご覧になってみてください。

次回は、天龍木材株式会社 阿部 誠太郎氏にお願いします。

木場すずめ

『歳を取る』

猛烈に暑かったこの夏も終盤となり、朝晩は少しずつ秋の兆しを感じるようになってきました。私は9月が生まれ月なので、ちょうどこの季節は自分が年を重ねるタイミングとなります。

誰でも歳はとるもので、衰えがくることも頭では理解していますが、20代では思いもしなかったことが50歳近くになってくるとおきてきます。近く of 文字が見つらくなってきました。いわゆる老眼です。また、物・人の名前が出てこなくなりました。えーっと、ほら、ああ出てこないなあ、なんて日常茶飯事です。お酒が好きで飲むのですが、若い頃はもっとシャキッとして飲んでいたという自負は跡形もなく、飲み会後半はグダグダで正しい酔っ払いのおじさんになっていると言われます。

マイナス面ばかり挙げましたが、自分なりに良い面も感じています。振り返ると学生時代はそれほど交友関係も広くなく、限られた友人と過ごしていました。社会人になって色々な人とお会いし、楽しいことやそうでないこともたくさん経験させてもらいました。人との出会いは自分の人生を広げてくれたと強く感じます。そして人付き合いの経験値が増すにつれて、いい意味での図々しさや都合の良い解釈の仕方がある程度は身に付けられたのかなと自己分析しています。礼儀や敬意には気を付けてのうえですが人に頼みごとができたり、考え方を変えて出来るだけストレスを溜めないようにしてみたり、学び取ったことも多くあります。

先日旅先で友人とお酒を飲んだとき、どこかに手帳を置き忘れてしまいました。翌朝気付き、先の予定が分からないのは大変困るので、立ち寄った場所やタクシーなどに一通り電話しても見つかりません。意気消沈で宿泊先のホテルをチェックアウトした時にフロントでこちらは違いますかと声を掛けられ、私の手帳が奥の棚に置いてあるのが見えました。手帳には自分の名刺を一枚挟んでいるので説明して無事に回収でき、ホッと胸を撫で下ろしました。友人から「酔って物を無くすなんて情けないと言っていたけれど、見つかるあなたは運が強いんだよ」と言われて「確かにそうだ！良いこと言うね！」と手帳を無くした失敗を見つけた喜びにきっちり変換し、楽しく旅を終えました。これからも都合の良い解釈をして、謙虚に歳を重ねていきたいです。

テナント募集

名古屋港木材会館の事務所にようやく空きが出ました！

物件種目	貸 事 務 所			
賃貸条件	賃 料	53,500円+消費税 +共益費1,000円	一時金等	保証金 160,500円(賃料3ヶ月分) ※全額返還 礼 金 117,700円
所 在 地	海部郡飛島村木場1-74			
交 通	伊勢湾岸自動車道「飛島」インターから車で約2分			
建 物	建物名、部屋番号	名古屋港木材会館 C号室		
	構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造/1階建		
	使用部分面積	23.4㎡		

※その他詳細についてのお問合せは ㈱名古屋港木材会館0567-57-2017 まで

令和7年 新年名刺交換会開催日のお知らせ

令和7年1月6日(月)17時～ 於 ホテルメルパルク名古屋

上記の通り予定しております。 ※ 詳細については、後日ご案内いたします。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

その相手、本当に警察官？

最近、通信局や警察官等を名乗る犯人からメッセージアプリに誘導され、金銭をだまし取られる被害が多発しています。警察はメッセージアプリを通して警察手帳や逮捕状等を見せたり、取り調べを行うことはありません。警察からメッセージアプリでのやりとりを案内されたら詐欺を疑い、最寄りの警察署や#9110(警察総合相談窓口)に相談しましょう。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー



世界初！
100%リサイクルせっこうボード

チヨダサーキュラーせっこうボード
CHIYODA CIRCULAR BOARD

廃せっこうボードから作られたリサイクル石膏を100%使用し、製造時のカーボンニュートラルを実現しました。

- 廃せっこうボードを100%原料に使用
- 製造時のカーボンニュートラル
- 従来製品と同じ高い耐火性能

CHIVODA VISION ZERO 共に築み、明日を創る。 チヨダサウテ

人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

MIYAGAWA®

宮川工機株式会社

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪53
TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956
URL <https://www.miyagawakoki.co.jp/>

発行 名古屋木材組合

発行者 西垣 洋一

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 服部 伸一

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会